

株式会社 TKC

既設 VPN サービス終了を機に、 クラウド提供型セキュリティサービスエッジへの リプレイスを実行

株式会社 TKC は、既設 VPN ソフトウェアおよびアプライアンスのサービス終了を機に、クラウド提供型の統合セキュリティサービスエッジである Cisco Secure Access へのリプレイスを実行。従来の VPN 脆弱性対策のための運用負荷およびコストを削減するとともに、セキュリティ強化とパフォーマンスの向上を実現しました。



株式会社 TKC

本社所在地

栃木県宇都宮市鶴田町 1758 番地

業種

情報・通信業

従業員数

2,428 名（2024 年 9 月 30 日現在）

Website

<https://www.tkc.jp/>

TKC は 1966 年の設立以来、会計事務所や地方公共団体などを対象に、ICT とコンサルティングに関するサービスを提供。1 万名超の税理士・公認会計士で組織する TKC 全国会とともに、中小企業の支援を通じて、日本経済の底上げに貢献し続けてきました。創業当初から継続するデータセンター運用に加え、現在はクラウドを活用した最先端システム・サービスの開発・提供にも取り組み、高度なサービスをお客様に提供しています。

課題

- ・ ビジネス環境変化に対応し、ゼロトラストセキュリティ化を推進
- ・ 既設 VPN のサービス終了に伴い、新たな仕組みが求められた

ソリューション

- ・ Cisco Secure Access

結果

- ・ ネットワークの可視化により通信量を半減、パフォーマンスを向上
- ・ VPN 脆弱性対策にまつわる業務負荷とコストを軽減
- ・ 今後は拠点に導入済の Cisco Umbrella を Cisco Secure Access に集約し、SASE の完成形を目指す

VPN サービス終了までの
短期間でのリプレイス完了には、
Cisco Secure Access が
最適解でした

金森 直樹 氏

株式会社 TKC
経営管理本部
部長



課題

既設 VPN サービス終了を受け Cisco Secure Access への移行を決断

本プロジェクトの経緯を、経営管理本部 IT 投資企画セキュリティアドバイザー担当 部長の金森 直樹氏は、次のように話します。「2023 年 11 月、当社が 10 年以上利用してきた VPN 設備のメーカーサポートが 3 月末で終了するとのアナウンスがあり、急遽対策を検討したのがきっかけです。当社は 2019 年頃からゼロトラストセキュリティに向けた取り組みを実施しており、その中で Microsoft 365 と Azure による社内通信の SSL-VPN 化も検討していましたが、実現にはさまざまなハードルがありました。当社には税理士や地方公共団体など、通信の高い機密性を求められる多くのお客様がおり、その安全性を担保する責任があります。そこでシスコに相談したところ、Cisco Secure Access の提案を受けました。」

同社 VPN 基盤の対象は、TKC 社内およびグループ企業。利用者数は 2,800 名を超えます。金森氏は VPN 基盤のクラウド型への移行について、次のように述べます。「当時、Cisco Secure Access はリリースしたばかりの時期で国内における実績も少なく、移行には不安もありました。しかしシスコの提案で、これからは VPN があること自体がリスクにつながることや、基盤を維持するための業務負荷やコストが削減できるメリットも理解しました。部内で議論を重ねた結果、VPN サービス終了までの短期間でリリースを完了するためには、Cisco Secure Access が最適解であるとの考えに至り、採用を決定しました。」

経営管理本部 IT 投資企画部長の市川 裕洋氏は、VPN 基盤の課題点を、次のように指摘します。「近年、VPN の脆弱性を狙ったセキュリティ攻撃が頻発し、当社でもその対策として証明書の更新やハードウェアのバージョンアップなどのメンテナンスに高額な費用がかかることに加えて、事前準備や計画の立案、保守のための予算確保、実施、動作検証などの対応工数も、かなりの負荷となっていました。加えて、通信量の増加に伴い、これまでのセンター集中型の仕組みでは帯域が不足し、コロナ禍では増強のための追加コストもかかっていました。VPN 基盤をクラウド化することでこれらの対応負荷やコストが不要となり、全社的なクラウドシフトの方針とも合致しました。」

ソリューション

クラウドサービスのメリットを活かし、 短期間での移行が完了

今回、既設 VPN サービス終了まで約 3 カ月と短期間でしたが、シスコと構築ベンダーの支援で Cisco Secure Access への移行はスムーズに進捗。移行の完了後に VPN 機器を順次廃止し、2024 年 4 月には切り替えが完了しました。

Cisco Secure Access は、SSE^{*1} の主要な機能を提供するクラウド セキュリティ ソリューションです。シスコの豊富な SD-WAN 製品との組み合わせで、ベストオブブリード型の SASE^{*2} を実現します。エージェント型の ZTNA^{*3} をベースとして、ZTNA には不向きとされる P2P 通信やサーバ発通信には VPNaaS^{*4} を利用。アプリケーションの制限で ZTNA への移行に踏み切れなかったユーザを助長します。

市川氏は、クラウドサービスとしての Cisco Secure Access のメリットを、次のように話します。「これまでのようにアプライアンスの調達や設置場所の調整、構築などの煩雑なプロセスが不要。短期間で立ち上げられたことで、クラウド化のメリットを実感しました。」

金森氏はこの間の苦労を、次のように明かします。「これまでの概念をクラウド型に置き換え、考えを整理するのには苦労もあり、設計コンセプトの立案は、シスコおよび構築ベンダーと議論を重ねました。たとえば、Cisco Secure Access ではこれまでのように機器で冗長構成するのではなく、VPN プロファイル機能で論理的に冗長化します。この辺りは構築しながら、理解を深めました。」

*1 SSE : Security Service Edge

*2 SASE : Secure Access Service Edge

*3 ZTNA : Zero Trust Network Access

*4 VPNaaS : VPN as a Service

結果～今後

ネットワークの可視化により通信量が半減 VPN 脆弱性対策などの負荷も大きく軽減

Cisco Secure Access は情報システム部門の運用管理を簡素化する機能として、各セキュリティ機能やポリシー、トラフィックを単一のコンソールで管理し解析する「クラウドマネージド コンソール」が備わっています。両氏はその導入成果を、次のように語ります。

トラフィック可視化により通信量の半減に成功

「Cisco Secure Access の管理コンソールで、これまで専用のエージェントをインストールした端末経由でしか見ることができなかった VPN 通信の詳細が、分かりやすく可視化できました。社内間だけのやり取りと思っていたところ、実はインターネットと通信するものも多く含まれるなど多くの気づきがありました。通信経路の棚卸しを行った結果、通信量を半減することができ、パフォーマンスの改善につながりました。」（金森氏）

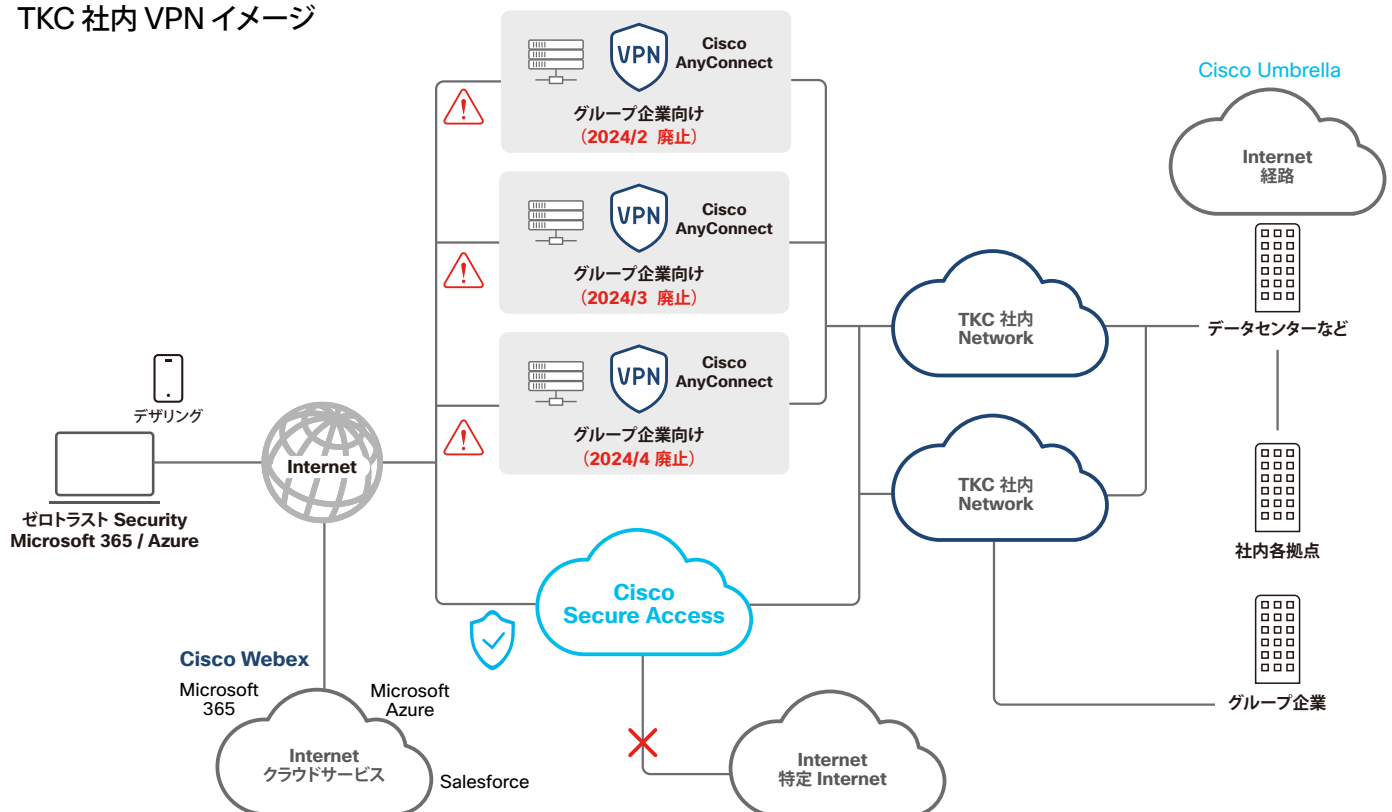
設定変更が容易、ユーザレベルのポリシー制御も可能

「これまで、VPN 設定変更の際はベンダーに依頼しての調整が必要であり、時間もコストもかかっていました。クラウド型であれば管理者がコンソールからモニタリング、変更なども容易に。自社でコントロール可能となった点も、大きなメリットです。ユーザ（組織）単位でのポリシーコントロールも可能なため、きめ細かくセキュリティレベルを強化できます。」（市川氏）

VPN 脆弱性対策の業務負荷・コストが軽減

「VPN 脆弱性にまつわる年に数回の停止、アップデート、検証、復旧などの業務に追われることがなくなり、企画の立案や新たなソリューションの導入などの本来業務に注力しやすくなりました。セキュリティの強化とともにコスト削減にもつながり、経営側が期待する攻めの IT 戦略が実行できます。」（市川氏）

TKC 社内 VPN イメージ



今後は Cisco Umbrella から Cisco Secure Access への 集約により SASE の完成形を目指す

今後について、金森氏は各拠点で活用中のシスコ製品との連携に期待を寄せていると語ります。「当社は 2022 年に DNS セキュリティの Cisco Umbrella を導入しており、拠点のローカルブレイクアウトに活用中です。今後は、今回導入した Cisco Secure Access への集約により SASE の完成形を目指すとともに、全社での運用を 1 つのプラットフォームに統合して効率化することで、有事の際も迅速な対応が可能になる。そしてセキュリティを強化しつつ社員の操作もシンプルに、利便性も向上させたいと考えています。」

最後に金森氏は、社外への展開およびシスコへの期待について、次のように結びました。「サイバーリスクが高まる中、従来のセキュリティ対策では社内も、そして当社のお客様も含めて安全を保つことが難しくなっています。当社は自社導入で培った知見を今後、お客様向けサービスにも展開していきたいと考えています。シスコには引き続き、さらに効果的で効率的なソリューション提供と支援に、期待しています。」



株式会社 TKC
経営管理本部
IT 投資企画 セキュリティアドバイザー担当
部長

金森 直樹 氏



株式会社 TKC
経営管理本部
IT 投資企画部長
市川 裕洋 氏



TKC は税理士とその関与先企業、中堅・大企業および地方公共団体向けのクラウドサービスの提供により、「黒字決算と適正申告の実現」、「地方公共団体の行政効率の向上」を支援しています。同社は今回導入した Cisco Secure Access のほか、Cisco Webex、Cisco Umbrella も活用しています。

URL www.tkc.jp/

製品 & サービス

- Cisco Secure Access

その他の関連情報

Cisco Secure Access の詳細は、
<https://www.cisco.com/site/jp/ja/products/security/secure-access/>
を参照してください。